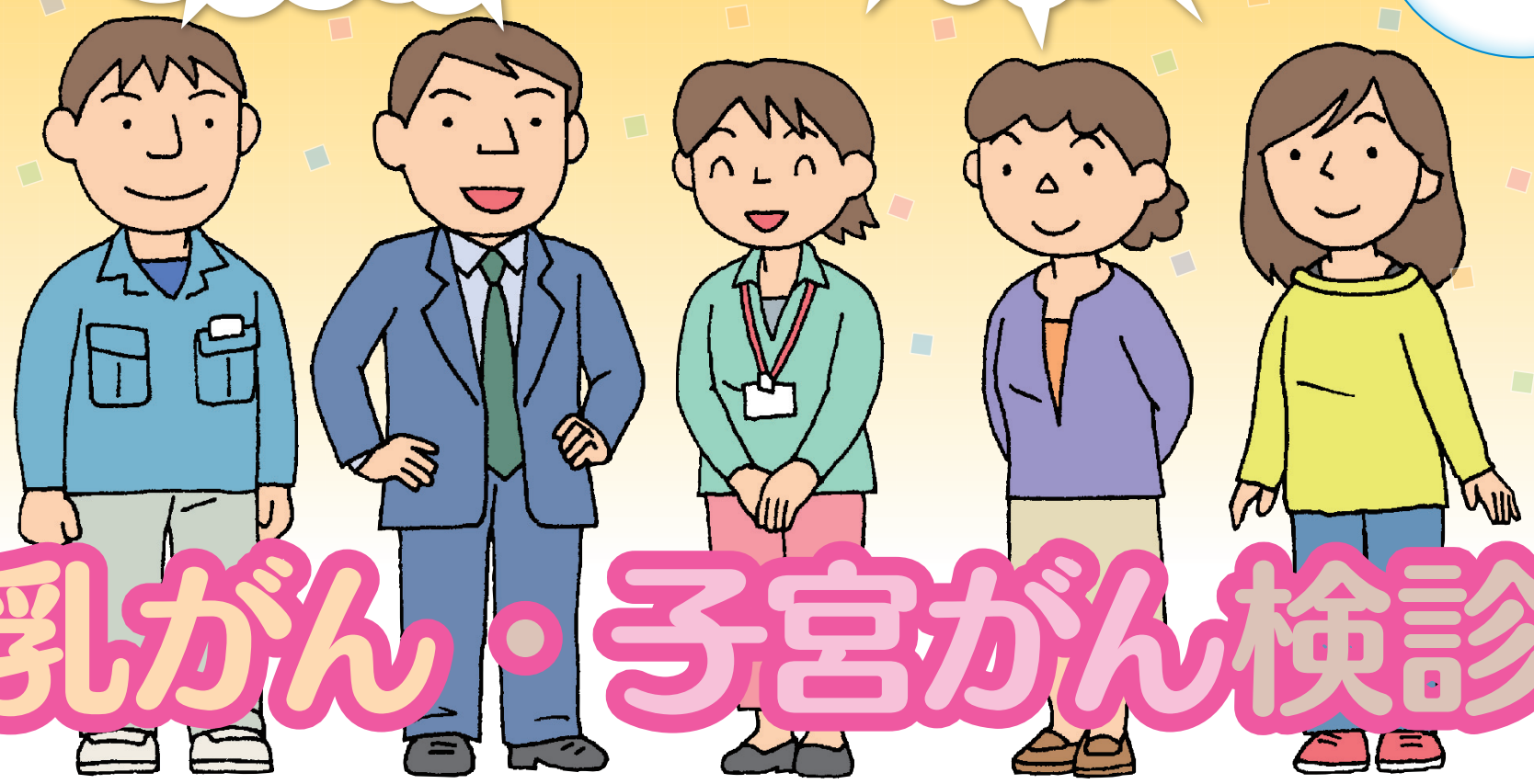
男性のみなさん
あなたの大切な人に受けるよう
勧めていますか？

女性のみなさん
受けていますか？

今年も行こう、
今年は行こう、
がん検診



乳がん・子宮がん検診

乳がん・子宮がんは身近な病気です。
自分はならない、関係ない、と思っていませんか？
忙しい、まだ若いし大丈夫、なんだか怖い、と言い訳して先送りしていませんか？
正しく知り、検診を受けましょう。

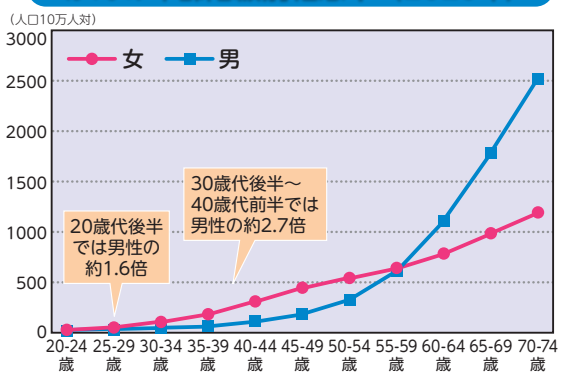
ぜひ受けてほしい！ その理由は・・・

サンヨー連合健康保険組合

働く世代では女性の方がんにかかりやすい

女性は男性より病気になりにくい、と思っていませんか？
意外かもしれませんが、**50歳代前半までの働き盛りの世代では、女性の方がんになりやすい**のです。

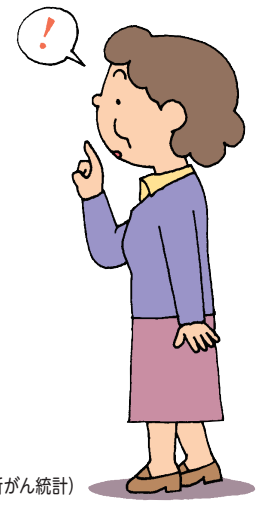
がんの年齢階級別罹患率（2020年）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）

乳がんは9人に1人。がんにかかることは珍しいことではありません。

最新の統計※では、**日本人女性が生涯で乳がんに罹患する確率は9人に1人。**
もはや他人事ではありません。
そして乳がんの発症のピークは40代後半と70代前半となっています。



※（2020年国立がん研究センター最新がん統計）

子宮頸がんは20代・30代にも多いがん。若いから関係ないと思わないで！

多くのがんは40代以降で罹患者が増えますが、子宮頸がんだけは20歳代後半から罹患者が増えます。
子宮頸がん検診の対象年齢は20歳以上です。
成人したら検診を受けましょう。

HPVワクチンの接種が予防に有効ですが、ワクチンで防ぎきれないHPV感染もあるので、検診も受けましょう。

乳がん・子宮がんは、早く見つかれば治りやすいがんです。

がんの中には早期に見つけることが難しいものもありますが、**乳がん・子宮がんは検診で早期発見が可能で、早く見つかれば95%以上が治ります。**
しかし、がんが進行してから見つかると、身体的にも負担の大きな治療が必要になり、後遺症が残ったり、残念ながら命を救えない可能性も高まります。

乳がん・子宮頸がんの初期には自覚症状がほとんどありません。

検診なんか受けなくても、痛みや出血などの症状が出てから病院に行けばいいと思っていませんか？
乳がん・子宮頸がんの**初期には自覚症状がほとんどありません。**症状が出る頃には進行してしまっていることが多いのです。
症状がなくても定期的に検診を受けることが大切です。